

## プレイルール 2：三経衰弱 ～研究者等の行動規範～（1人～4人）

### カードの配置

プレイカードのうち、題と文と「語と節」のカード全部（各 17 枚、全部で 51 枚）を伏せてよく混ぜて、カードがお互いに重なり合わないようにならべて置く。

### プレイの目的（purpose）

プレイの目的は、伏せて置かれたカードを開いていき、題と文と「語と節」の正しい 3 枚組をできるだけ多く完成させて自分のアイテムにすることです。

### プレイのコツ（tips）

正しい 3 枚組にならないと自分のアイテムにすることができないので、研究者の行動規範の正しい理解が重要です。また、番の間に完成しなかったカードのうち題と「語と節」のカードは番が回ると再び伏せられますので、どこにどのカードがあるのかを覚えておく記憶力が必要です。

### プレイの進行（procedure）

初番の人を決める。番は時計回りに回し、1 回の番は次の通り進める。

- (1) 置かれているカードの中から 3 枚を選ぶ。開いてあるカードでも伏せてあるカードでも選んでよい。
- (2) 選んだカードの中の伏せられているカードをすべて開く。
- (3) 選んで開かれた 3 枚が題と文と「語と節」の正しい 3 枚組かどうかを、研究者の行動規範を確認するなどして、全員で判定する。
- (4) 選んだ 3 枚が題と文と「語と節」の正しい 3 枚組のときには、その 3 枚を受け取って自分のアイテムにして開いて場に置き (4) に進む。正しい 3 枚組みではないときには、その 3 枚の中の題と「語と節」のカードを伏せて番を終える。
- (5) 置かれているカードが残っている場合には (1) に戻る。

### プレイの終了（end）

置かれているカードがなくなったら番をまわすのを終える。

受け取ったアイテムの数がもっとも多い人が勝ちとなる。

次のプレイを始める場合は最初に勝って抜けた人がカードを配り初番になる。